

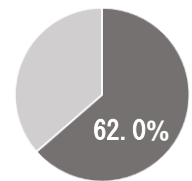


～高校2年生としての学習習慣を確立しよう～

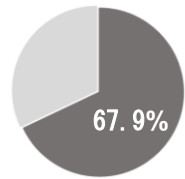
2年生になり、「気持ちを新たに頑張ろう」と誓った人も多かったと思います。残念ながら、休校に入ってしまったのですが、最初の気持ちを折らずに在宅生活を乗り切って、休校明けの学習につなげましょう。学力を伸ばすために、どのように学習に取り組めばよいかを考える参考として、先輩方のデータを載せました。2年生秋に成績のよかった人を成績◎、成績のよくなかった人を成績▲と表しています。

先輩たちのデータを参考に、高校2年生の適切な学習習慣を考えよう

学習時間の確保 平日：2時間、休日：3時間以上の学習時間の確保がカギ！



平日2時間以上勉強している成績◎の割合



休日3時間以上勉強している成績◎の割合

学習開始時間の決定 学習開始時間を固定し、毎日学習する習慣を身につける！

成績◎ 76.1%

成績▲ 37.9%

約40%の差

左のデータは「学習開始時間を決めていた成績◎と成績▲の割合」を示しており、成績◎と成績▲では約40%もの差があることがわかります。

ポイント 1日の学習スケジュールを立てよう！

学習時間については成績◎のデータを目安に確保し、計画的に毎日学習する習慣を定着させよう

計画や目標の決定 目標を立て、それを達成できるよう計画的に学習する！

成績◎ 66.9%

成績▲ 32.2%

30%以上の差

左のデータは「計画や目標を決めていた成績◎と成績▲の割合」を示しており、成績◎と成績▲では30%以上の差があることがわかります。

ポイント 月ごとの学習目標を立て、その達成のために計画的に学習を進めよう！

1か月、1週間、など区切りごとの学習目標を立て、毎日計画的に学習しよう

データは、2019年度スタディーサポート2年生第2回全国集計結果より。「成績◎」はGTZ（学力）：S1～S3（難関大合格レベル）、「成績▲」はD1～D3（基礎・基本養成レベル）の生徒の平均回答率。 ※「GTZ（学力）」は、学力の到達度をS1～D3の15段階の大学群で表示したものです。

3教科の取り組み方のポイントを押さえて、成績アップをめざそう

国語、数学、英語の3教科について、成績アップにつながる学習スタイルをまとめました。2年生春に成績がよかった人（成績◎）とよくなかった人（成績▲）のデータもあわせて参考にし、学習に取り組んでみましょう。

国語 古典の学習は、授業を中心に行おう

<古典の自主学習のポイント>

- ・ 予習で疑問を発見 …本文の音読、わからない単語の意味調べなどに取り組む
- ・ 授業中に徹底理解 …授業中にわからなかったところは先生に質問する
- ・ 単語や文法は毎日の積み重ね …古典の基本である、単語や文法、句法を覚える

<予習・宿題・復習など授業中心の学習をしている>

忙しくても、自主学習習慣を保つことが大切です。

成績◎は成績▲と比べて、授業中心の自主学習の定着割合が高いことから、その重要性が伺えます。



数学 疑問は即解決し、問題演習で理解を深めよう

<問題演習を通して理解を深めるまでの道のり>

- ① 授業で理解できなかったことをノートにチェックする
- ② 理解できなかったことは、先生に質問するなどしてすぐに解決する
- ③ 問題演習に取り組み、理解を深める

右のデータから、成績◎は、問題を通して理解を深めていることがわかります。

「授業中・授業後に疑問解消⇒問題演習で理解を深める」のスタイルを定着させていきましょう。

チャートの貼り付け

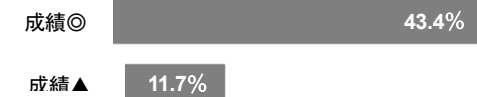
英語 予習、授業、復習の黄金サイクルを定着させよう

<授業中心の学習サイクル>

- ・ 予習：本文を音読する、知らない単語や熟語の意味を辞書で調べる、疑問点を整理する
- ・ 授業：先生の説明などから予習時の疑問点を解消する、重要だと感じたことを板書する
- ・ 復習：授業中に新たに気づいたポイントを整理する、新しく習った単語の意味を調べる

<平日に1時間以上の自主学習時間を確保している>

授業中心の学習スタイルを定着させるために、まずは平日の自主学習時間の確保も大切。少なくとも成績◎は、その時間を確保できている人が多いようです。



「3教科の取り組み方のポイントを押さえて、成績アップをめざそう」は、「2020年度スタディーサポート活用BOOK2年生第1回」を参考にしています。